

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: H31年 3月 26日

事業所名: 児童デイサービスわだち

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に基づいているが、中高生が多い時は狭く感じる。	もう少し広くてもいいかなと感じる。	
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき配置している。	スタッフに差があり全員が専門性があるかわからない。	適切な研修を行い専門性を高める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1日の手順やお友達等を壁に貼り見える化をしている。		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝掃除を行い清潔に努めている。	床が冷たそう。	各場の環境改善を図る。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	1ヶ月の振り返り、反省会等を全職員参加で行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施なし。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	各部研修及び実務経験により資格取得を法人で勧めている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	本人及び家族よりニーズ等聞き取り、個別支援計画に反映している。	・具体的な目標や支援の方法を教えてくださいるので有難い。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一人一人の置かれている状況に応じ個別支援、集団支援を実施している。	・曜日によって色々な活動があって良い。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の個別支援計画に記載している。	・子どもの特性を理解してくれている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	タイムスケジュールに沿って実施している。		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月間予定を職員間で話し計画、実施している。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長時間になる時は休憩を挟む等工夫して活動意欲が出るように工夫している。又、体操教室やアロマ等の教室も行っている。	曜日によって色々な活動があり良い。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日設定プログラムにより1つに偏らないよう工夫している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼で今日行う内容、留意点等確認している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了後引継ぎノート等に気になった点等記載して情報の共有を図っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌に関しては必ず2重チェックを行い適正化を図っている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に1回保護者と面談を行い課題の共有及び目標の設定を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	依頼があれば出席している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する方がいない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する方がいない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在は依頼がない。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者から依頼があれば進路の相談等必要があれば情報の提供等行っている。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修等あれば積極的に参加を促している。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の公園やイベントに参加し地域との関わりを持っている。	利用している日になかった。 地域のイベントの参加を事業所単位で促す。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施出来ていない。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明、用意をしています。		
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	サービス計画の見直し時等に保護者に説明、用意を得つ実施している。		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時必要があれば助言する程度。		必要な研修を受けて支援が出来るようになります。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に本人の様子、変化等を説明している。		
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や懇談等で相談を受けると必要な情報等提供している。		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に1回親子遠足を行っている。	年に1回の遠足が楽しみ。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情、相談マニュアルを配置し必要時に研修を行い用いている。		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適切研修を行い知識を高めている。		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1回情報誌を発行し空き状況、活動内容、注意喚起等を掲載している。		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫で保管している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	年間研修計画に沿って実施している。		
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1回以上避難訓練を実施している。		
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回研修を行っている。又、職員が職員をみる体制を作っている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当者はいない。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者より聞き取りを行い、必要に応じて食事等の提供を行っている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	法人全体で事例検討会議を行い情報の共有を図っている。		